

訪問看護テーマソング「人明かり」

日本ほうもんかngo財団 作詞／たきのえいじ 補作詞・作曲／かとうれい子 歌

日本訪問看護財団が作製した標記訪問看護テーマソングは、2016年5月11日にCDとして発売され、同時にカラオケ（DAM系）でも歌えるようになりました。どなたにも歌いやすく、元気が出て優しい気持ちになれる歌「人明かり」をご愛唱ください。

★一言

この「人明かり」は、人々を照らす光のことではなく、看護や介護を必要とする人をやさしく見守る心です。どんな時でもあきらめないで、明日につなぐ明かりです。

「死ぬほどの病気でなくとも、じっと見守られるということが、自分の存在感を見失い、生きる気力を奪われていく病む者に、どれほどの安らぎを与え、心を和ませることでしょうか。」「患者が看護師に十分見守られて死ぬような国であってこそ本当の豊かさを持った国といえるのでは・・・」と中島みち先生。

2015年10月に他界されましたが、中島先生は「看護の日」の生みの親、また当財団の発起人・理事として訪問看護をずっと応援して下さった方でした。

「人明かり」というこの言葉を患者が望む看護の原点として忘れないで、皆さまと一緒に訪問看護の普及に取り組みたいとの思いから歌のタイトルにしました。

★歌手はかとうれい子さん

NHKみんなのうた「絵はがき（手話つき）」を歌われた、澄んだ声の持ち主です。

★バックコーラスは、当財団立あすか山訪問看護ステーションの訪問看護師 5人が歌いました。

※「人明かり」はトラック2に入っております。カップリング曲はトラック1で「人恋染めし」です。



CDジャケット写真です